

第3刷で訂正(2021年3月31日公開分)

頁	誤り	正
653頁 右段下から13行目	年長児においても、 <b>内ヘルニアによるイレウス</b> 、腸回転異常などにまれに遭遇する。	年長児においても、 <b>複雑性腸閉塞</b> 、腸回転異常などにまれに遭遇する。
425頁 左段下から6行目	喉頭や喉頭蓋の軟骨が未成熟であり <b>軟らかい</b> ため損傷をきたしやすい。	喉頭や喉頭蓋の軟骨が未成熟であり、 <b>もろい</b> ため損傷をきたしやすい。
674頁 左段上から8行目	(新生児の心拍数は大人の2倍であり、心拍数 <b>60</b> /分は徐脈である)	(新生児の心拍数は大人の2倍であり、心拍数 <b>100</b> /分は徐脈である)
293頁 左段下から1行	…一類感染症または <b>二類感染</b> に該当するとされた…	…一類感染症または <b>二類感染症</b> に該当するとされた…
473頁 右段下から1行	意識障害の傷病者で一側の散瞳と反対側の片麻 <b>痺</b> を…	意識障害の傷病者で一側の散瞳と反対側の片麻 <b>痺</b> を…

第2刷で訂正(2020年7月1日公開分)

頁	誤り	正
103頁 図Ⅱ-1-75 右「呼気時」イラスト上	横隔膜が収縮している	(文章を削除)
209頁 右段「C 重要な静脈内投与薬-1輸液製剤」上から3行目	…(1日1500~2500L)…	…(1日1500~2500mL)…
359頁 図Ⅲ-2-37 右上囲み3-4行目	※2 コーマックグレード1 <b>の場合</b> ではBURP法を行ってもよい。	※2 コーマックグレード1 <b>でない場合</b> にはBURP法を行ってもよい。
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から1行目	以下の(1)~(4)すべてで15歳以上の傷病者を対象とする。	(文章を削除)
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から5行目	(2) 心臓機能停止例:…	(2) 心臓機能停止例 <b>[8歳以上(推定も含む)]</b> :…
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から7-9行目	(3) 増悪するショックである可能性が高い場合、またはクラッシュ(圧挫)症候群を疑うか、それに至る可能性が高い場合:…	(3) 増悪するショックである可能性が高い場合、またはクラッシュ(圧挫)症候群を疑うか、それに至る可能性が高い場合 <b>[15歳以上(推定も含む)]</b> :…
383頁 左段「M 静脈路確保と輸液-2適応」上から12行目	(4) 低血糖症例:…	(4) 低血糖症例 <b>[15歳以上(推定も含む)]</b> :…
389頁 右段上から16-17行目	⑦アドレナリン投与後 <b>1分後</b> に心電図波形と総頸動脈を確認する。	⑦アドレナリン投与後 <b>約2分後</b> に心電図波形と総頸動脈を確認する。
390頁 写真Ⅲ-2-79 写真右の説明文	⑤⑦ 上肢を10~20秒程度挙上させ、アドレナリン投与後 <b>1分後</b> に心電図波形と総頸動脈を確認する	⑤⑦ 上肢を10~20秒程度挙上させ、アドレナリン投与後 <b>約2分後</b> に心電図波形と総頸動脈を確認する
707頁 左段下から5行	…あるいは橈骨動脈が <b>触知</b> 可能である場合…	…あるいは橈骨動脈が <b>触知</b> 可能である場合…
713頁 左段下から3行	…静脈が圧迫されて静脈 <b>灌流</b> を妨げるので…	…静脈が圧迫されて静脈 <b>還流</b> を妨げるので…
813頁 左段上から11-13行目	体温が1℃低下することにより代謝は <b>5%</b> 低下する。 <b>体温が10℃低下すれば代謝は50%低下する</b> ため、酸素需要量が低下して生存の可能性が延長される。	体温が1℃低下することにより代謝は <b>約13%</b> 低下するため、酸素需要量が低下して生存の可能性が延長される。 (「。体温が10℃低下すれば代謝は50%低下する」を削除)

第2刷で訂正(2020年9月14日公開分)

頁	誤り	正
147頁 左段「D 血液型」上から10行目	…日本人ではA型(40%)> <b>B型</b> (30%)> <b>O型</b> (20%)…	…日本人ではA型(40%)> <b>O型</b> (30%)> <b>B型</b> (20%)…
323頁 右段「B 感覚」上から7行目	…関節や <b>腱</b> に…	…関節や <b>腱</b> に…
778頁 右段上から7行	「…眼瞼結膜」のルビ「 <b>がんけい</b> けつまく」	「 <b>がんけん</b> けつまく」
207頁 左段上から8-9行目	…血糖値に応じて <b>必容量</b> のブドウ糖溶液を投与する。	…血糖値に応じて <b>必要量</b> のブドウ糖溶液を投与する。